

# 平成24年度 中学校1学年及び2学年30人規模学級の実施状況について

義務教育課

## 1 実施状況について

No.	項 目	校数等	
(1)	中学校の総数(分校3含む)	189	
(2)	該当校数	中1	71 : 37.6%
		中2	76 : 40.2%
(3)	実施校数	中1	66 : 93.0%
		中2	69 : 90.8%
(4)	(3)のうち、専科教員分等の加配数	85	
(5)	該当するが導入を選択しない校数	中1	5 : 7.0%
		中2	7 : 9.2%
理由	① 教室不足で対応できない	中1	2
		中2	1
	② 中1から中2で学級編制替しない	中2	4
		中1	3
	③ 校内事情(生徒数不安定など)	中1	3
		中2	2

(23年度実施率 66%)

## 2 実施校

### (1) 1学年

東信	芦原中、浅間中、中込中、佐久市立東中、望月中、立科中、上田第三中、上田第四中、上田第五中、塩田中、丸子北中、東御東部中、北御牧中
南信	上諏訪中、諏訪中、茅野東部中、下諏訪中、下諏訪社中、伊那東部中、春富中、赤穂中、辰野中、箕輪中、南箕輪中、鼎中、松川町立松川中、阿智中、高陵中
中信	女鳥羽中、鉢盛中、梓川中、波田中、塩尻中、丘中、筑北中、豊科北中、豊科南中、穂高西中、三郷中、堀金中、明科中、仁科台中、高瀬中
北信	相森中、高山中、信濃中、戸倉上山田中、更埴西中、屋代中、南宮中、中野平中、山ノ内中、木島平中、豊田中、城南中、信州新町中、櫻ヶ岡中、三陽中、長野北部中、裾花中、犀陵中、篠ノ井西中、松代中、若穂中、川中島中、広徳中

### (2) 2学年(○は23年度も実施)

東信	○小諸東中、○芦原中、○浅間中、○野沢中、○中込中、○佐久中、○軽井沢中、○御代田中、○立科中、○上田第一中、○上田第三中、○上田第四中、○上田第六中、○塩田中、○丸子中、○丸子北中、○東御東部中
南信	岡谷北部中、岡谷東部中、○岡谷南部中、○諏訪中、○諏訪南中、○茅野北部中、○下諏訪中、○原中、○伊那東部中、○赤穂中、○辰野中、○南箕輪中、○旭ヶ丘中、○緑ヶ丘中、○松川町立松川中、○阿智中、○高陵中
中信	大桑中、清水中、鎌田中、○旭町中、○山辺中、○高綱中、○菅野中、○波田中、○丘中、○広陵中、○塩尻西部中、○豊科北中、○豊科南中、○穂高東中、○明科中、○仁科台中
北信	○常盤中、○相森中、○墨坂中、○須坂市立東中、○高山中、○飯綱中、○屋代中、○南宮中、○山ノ内中、○木島平中、○豊田中、○柳町中、○櫻ヶ岡中、○長野東部中、○裾花中、○犀陵中、○篠ノ井西中、○川中島中、○広徳中

### 3 取組内容等について(例)

No.	学校	取組内容等
(1)	東信A中学校	個別の学習カルテ(指導記録)等を活用し、一人ひとりのつまづきを明確にし、授業展開を工夫する。また、日常的に授業を見合うなど教科会の充実を図る。前年度の様子を基に不登校傾向のある生徒へチームで支援し不登校改善を図る。
(2)	東信B中学校	授業中の机間指導をきめ細かく行うことで、生徒の実態を確実に把握し、個別指導を充実させる。担任が、生活記録を丁寧に読んだりコメント記入したりすることにより、一人ひとりの気持ちにより添い生徒と悩みなどを共有し信頼関係を強化する。
(3)	南信C中学校	30人規模学級の良さを生かし、グループ学習やペア学習を位置付けた授業づくりをおこなうとともに、P問題、C問題やクリアー問題、チャレンジ問題等を活用し定着状況を把握し学力向上を図る。
(4)	南信D中学校	一人ひとりの学習の定着状況を綿密に把握し個に応じた指導で学習内容の定着を図る。また、不登校傾向生徒への校内のチーム支援体制や外部機関との連携を一層強化し、初期対応に力を入れ新たな不登校を出さない。
(5)	中信E中学校	一人ひとりが活躍できる場面を工夫したり、個別指導を充実させたりして、授業の充実を図るとともに、家庭学習の内容と点検をきめ細かく行い学力の向上を目指す。学級担任が、毎日学級の一人ひとりに声かけをしたり生活記録へのコメントを丁寧に記述したりして、生徒の様子を把握し不登校等の未然防止に努める。
(6)	中信F中学校	授業で、グループ学習を取り入れたり生徒が発表する時間を確保したりすることにより、表現力の向上を図る。学年の教職員が増えることにより、学年内でチームを組み、生徒指導をチームでおこない、トラブル等を早期に解決していく。
(7)	北信G中学校	各種学力調査の結果を分析し、全教科で「教えて考えさせる授業」の実践を通して学習スキルを身に付けさせ、家庭学習の充実と基礎基本の定着や活用力を高める。生徒による授業評価を基に教員の自己課題を明らかにし、授業改善に努める。
(8)	北信H中学校	個々の生徒との面接の機会を増やすなど、一人ひとりにきめ細かな指導を積み重ね、集団の中での人間関係の把握などを丁寧に言い、集団不応やいじめなどへの早期対応を進める。